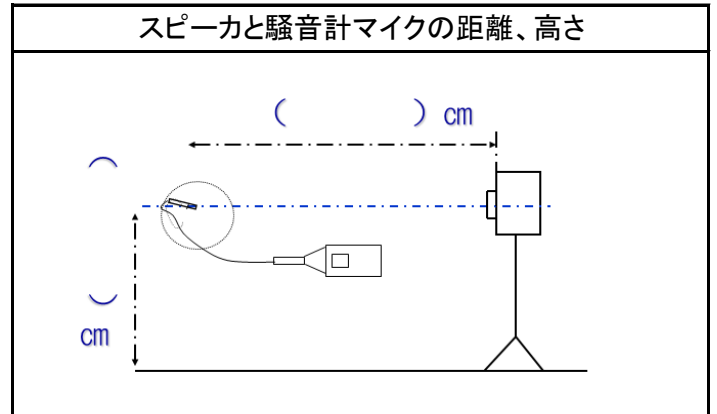


店舗名 _____

使用測定器(騒音計)	
型式	特性

※音場校正に使用した周波数特性を記入してください

装用効果測定のための機材	
オーディオメータ 型式	
スピーカ 型式	
CD再生機 型式	
スピーチ 使用音源	



基準値(dBSPL)

周波数(Hz)	250	500	750	1000	1500	2000	3000	4000	6000	スピーチ
0dBHL 両耳聴 ^{*1} (ISO389-7)	11.4	4.4	2.4	2.4	2.4	-1.3	-5.8	-5.4	4.3	(10)
0dBHL 単耳聴 ^{*2} (ANSI S3.6)	13.4	6.4	4.4	4.4	4.4	0.7	-3.8	-3.4	6.3	
70dBHL 両耳聴出力 ^{*3} (ISO389-7)	81.4	74.4	72.4	72.4	72.4	68.7	64.2	64.6	74.3	(80)
70dBHL 単耳聴出力 ^{*4} (ANSI S3.6)	83.4	76.4	74.4	74.4	74.4	70.7	66.2	66.6	76.3	
許容差	±5	±5	±5	±5	±5	±5	±5	±5	±5	

^{*1} 両耳で聞いた時の0dBHLの規格
^{*2} 片耳で聞いた時の0dBHLの規格
^{*3} 両耳で聞いた時の70dBHL時の音圧
^{*4} 片耳で聞いた時の70dBHL時の音圧

(参考) 片耳の規格で校正する場合は、ダイヤル70dBの時に各周波数で*4の音圧になるよう校正する
 音場校正、校正値を確認する場合は騒音計の周波数特性をCまたはZ(F)で行うこと

実測値(dBSPL)

測定日		250	500	750	1000	1500	2000	3000	4000	6000	スピーチ	測定時 騒音レベル	担当
年 月 日	実測値 誤差											dB(A)	
年 月 日	実測値 誤差											dB(A)	
年 月 日	実測値 誤差											dB(A)	
年 月 日	実測値 誤差											dB(A)	
年 月 日	実測値 誤差											dB(A)	
年 月 日	実測値 誤差											dB(A)	
年 月 日	実測値 誤差											dB(A)	
年 月 日	実測値 誤差											dB(A)	
年 月 日	実測値 誤差											dB(A)	
年 月 日	実測値 誤差											dB(A)	

※音場でのスピーカーの校正方法に関しては、資料2「販売店における補聴効果の確認法」のP4～を参考にしてください。